

桃井第二小学校校舎改築基本設計説明会

「杉並区まちづくり条例」及び「杉並区中高層建築物の建設に係る紛争の予防と調整に関する条例」に基づく説明会議事録（要旨）

○開催日時・会場

平成 28 年 5 月 20 日（金） 19 時～21 時
桃井第二小学校体育館

○出席者

近隣住民 85 名
学校整備担当部長
学校整備課長
施設整備担当課長
児童青少年課長
子どもの居場所づくり担当課長
施設再編・整備担当課長
株式会社綜企画設計
大和リース株式会社
桃井第二小学校校長

○議事

1. 区職員・設計者紹介・仮設担当者紹介、挨拶
2. 概要説明（別紙資料参照）
3. 質疑応答（要約）

【凡例】 Q…質問、要望など A…回答及び説明

Q：敷地から建物間の距離を教えてください。また、その部分に植物を植えることは可能ですか。

A：敷地境界から約 3 メートル空いています。資料 P3 配置図の斜めの点々のハッチが掛かっている場所は植栽帯になります。

Q：①新校舎の耐用年数はどのくらいを考えていますか。

②児童数の増減の対応はしていますか。

③屋上のプールは設計上望ましいやり方なのでしょうか。

A : ①60 年以上は耐久すると考えています。

②児童の増加につきましては、少人数教室や生活科室など転用可能な部屋を用意しており、対応できると考えています。

③プールにつきましては、校庭を広くとるため、屋上に設置するケースが多くなっています。十分な耐力の設計をしますので、構造上問題になることはございません。

Q : 仮設校舎の耐震性はどのようになっていますか。

A : 仮設校舎の耐震性につきましては、一般の建物と同じように耐震性のチェックをしていますので、ご心配はいらないと考えております。

Q : ①現在の体育館の天井高は何メートルありますか。新校舎の建物の高さも確認したいです。

②善福寺川沿い敷地境界から校舎までの距離が約 3 メートルというのは狭いと思います。もう少し広げて欲しいです。

③小規模遊び場が小さすぎると思います。

A : ①体育館の天井は、一番高いところで約 8.5 メートルです。新校舎で一番高い 23.07 メートルというのは、善福寺川から下がった建物中央付近のプール更衣室や倉庫などになります。

②川沿いをもっと空けて欲しいというご要望については、子どもたちのために校庭を広くとるため、ご了承いただきたいと思います。

③小規模遊び場については、100 平米程度は確保しています。

Q : ①今回の説明会のチラシがうちには入っておりませんでした。荻窪地域、杉並区内に関しては告知すべきではないでしょうか。

②なぜ敷地南側(善福寺川側)に建築計画のお知らせ看板が立っていないのでしょうか。

③グラウンドの素材を教えてください。風が吹いたら砂が近隣に飛ぶ可能性があります。

A : ①説明会については、条例に基づき案内をすべき範囲が決まっています。今回建てる建物の一番高い高さの 2 倍の範囲の方にご案内をさせていただきました。それぞれ新築工事や解体工事の説明会につきましては、工事の請負業者が決定しましたら、改めてご案内をして、具体的な工事時間や工事のやり方について説明させていただきます。

②標識の配置については、条例で道路に面したところに張って周知することになっています。善福寺川管理用通路は道路ではないので、張らなかったということです。

③グラウンドの素材につきましては、なるべく飛散しないような素材を検討していません。芝生ではございません。

Q : ①できるだけ早くグラウンドを使えるように、可能であれば工期を短縮していただきたいと思います。

②工事車両の走る場所について教えてください。

A：①児童・生徒の安全に配慮して工事を進めていきますので、現在のところは大幅な短縮は難しいところです。

②工事車両につきましては、仮設校舎等建設時は東側の門から、体育館・プールの解体工事等は、基本的に環八側から直接入るルートを計画しています。安全には最大限配慮して、車両の運行計画などを考えています。

Q：仮設校舎と新校舎建設工事現場の最短距離はどれぐらいを想定しているのでしょうか。最短距離で想定される騒音の心配があります。

A：仮設の体育館で約2メートル70センチ、これが一番近いところです。平均すると大体4メートルぐらいです。

Q：新体育館の西側端部から塀までは何メートルありますか。

A：体育館の器具庫の一番出ているところから道路の境までが約6.5メートルです。

Q：正門が1つになると、西側道路は子どもたちが大勢通り、うるさくなるおそれがあります。

A：道路に沿って2メートルの歩道をつくります。子どもたちが道路に飛び出さないように、通学時は歩道を歩くように指導してまいりたいと思います。

Q：新校舎の校庭は、いわば北側になります。冬の凍結対策と、雪が降った次の日から校庭を十二分に使えるような形にして欲しいと思います。

A：グラウンドについては、水はけをよくして、凍結防止にも効果のあるような舗装材を選定していきます。雪の降った次の日に全面使えるようにというのは、現実的ではないですが、極力影響を受けないような舗装を検討します。

Q：新校舎が川から大変近いと思います。川沿いに校舎が建っている前例はあるのでしょうか。地質調査は行ったのでしょうか。地質の改良や地盤まで杭が刺さるように建物を建てる工夫をするのですか。

A：川と校舎の関係ですが、杉並区内には川と近い校舎は何校かございます。既に敷地内で何箇所か地盤調査を実施しており、その結果に基づいた安全な杭設計、また支持地盤への杭打設を行う計画です。

Q：①今のプールは二つに割れて新築したと記憶があるので、そのプールの跡地に本校舎を建てるのが心配です。

②以前、善福寺川があふれたときに、倉庫が水没したことがあります。心配です。

③新しい校舎にエレベーターはありますか。

④重いプールの下が体育館で、その下に学童クラブがあり心配です。

A：①以前のプールは非常に古く、木の杭が十分支持層まで届いていなかったと聞いておりますが、今回は丈夫なコンクリート杭を支持層までしっかり到達させます。

- ②善福寺川の氾濫被害水域よりも高い位置に1階の床を設定しています。
- ③屋上のプールまでエレベーターが届くように設計しています。
- ④プールが屋上にある学校はたくさんありますが、東日本大震災において構造設計がされているプールが崩れたという学校はないと思います。体育館、その下の学童クラブもきちんと構造設計をいたします。

Q：校庭からの音の防音については、どのような対策を考えているのか教えていただきたいです。

A：校庭の音につきましては道路側に歩道をつくり、内側に植栽帯を設けますのである程度は抑えられると思います。校庭の放送については、小さなスピーカーを数カ所つくるなどの対策をとってまいりたいと思います。

Q：小規模遊び場は環状八号線に非常に近く、子どもの飛び出し等が心配です。

A：小規模遊び場ですが、善福寺川の通路から出入りするようにしており、環八のほうに直接出入り口はございません。夜間等は扉等を閉鎖するようなことを考えています。

Q：児童館や学童クラブの場所を教えてください。また、あんさんぶる荻窪にくらべて、地域開放のスペースが少ないと思います。

A：子どもの居場所については、学童とは別にスペースを用意しています。学童クラブに隣接する多目的室が児童館の一般利用部分です。その他、学校の広くて充実した施設を活用したいと考えています。今回設ける開放会議室は、比較的大きなスペースを用意しています。また、天沼三丁目の複合施設の4階フロアに、集会室3部屋と多目的集会室1部屋を計画しています。

Q：子どものためのスペースの広さを教えてください。

A：新校舎内の学童クラブは事務室なども入れて約400平米、育成室部分だけでも300平米以上確保しています。定員につきましては150名程度を考えています。多目的室は約200平米ぐらいです。

Q：①校庭の倉庫の大きさを教えてください。

②学校との境界はどのようになりますか。植栽の計画樹木を教えてください

A：①校庭の倉庫は、高さ3メートル程の平屋建てを計画しています。

②敷地境界の塀は危険なものはつくり変える予定です。近隣ともご相談して検討していきたいと思います。植栽については、近隣との境に大きな樹木を植えることはないと思います。

Q：①現在の植栽は全部なくすのですか。

②グラウンドのレベルを現状よりどの程度上げるのですか。雨水ますを壊した後に大雨があったらどうするのですか。

A：①今回、大きな樹木を伐採させていただくことになるかと思います。

②グラウンドのレベルですが、道路よりも上がっている場所を漉きとります。仮設校舎の建設では、排水計画もしっかりとります。

Q：なぜ倉庫や飼育小屋の配置が懇談会の内容と変わっているのですか。

A：校庭が使いやすいように配置を決めました。